

モデルハウス2棟の工事が進んでいます

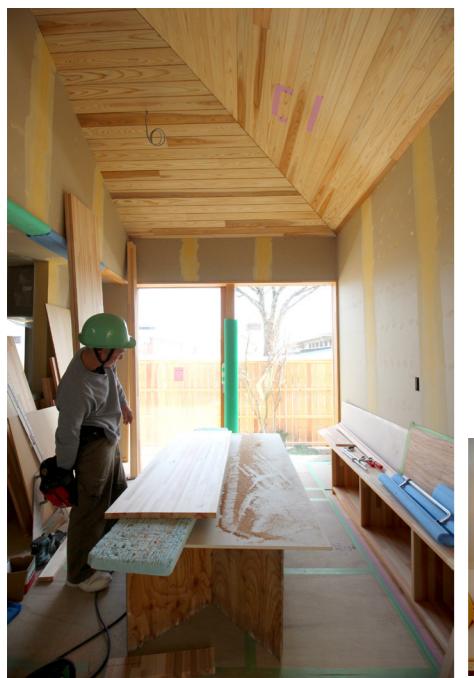


リビングの一角に土間があり、薪ストーブが入ります。

5月の完成見学会に向けて工事が進んでいます。断熱材が入り、社員の八ツ賀君(大工)が造作に取り組む頬らしい姿を見せてくださいました。西の大きな窓からは、菜の花が咲く田畑が広がり、その奥に西山が望めます。窓とウッドデッキが繋がる予定です。ここでお気に入りの椅子を用意して、のんびり景色を眺める日が楽しみです。



長岡市うぐいす台モデルハウス
「のんびりぐらしの家」



3月中旬の現場に向かうと、完成に向けて大工さんたちが慌ただしくラストスパートを切っていました。木を使った造作の建具が多く、寸法を測り何枚も切っていました。平屋の家はふたり暮らしに丁度良い広さ。リビングとそれぞれの個室、屋根裏部屋というコンパクトな造りです。リビングは窓から四季を感じられる様に、お庭も計算されて作られています。

4月19日(日)「ランチ付き・のんびりぐらしの家勉強会」開催します
新林の平屋の家を会場に私たちの家づくりを知っていただく勉強会です。詳しくはお問い合わせください。
075-335-2254(株式会社小野建築設計)



これまでの活動の様子

2月16日長岡市うぐいす台モデルハウスで薪ストーブ火入れ式と断熱体験会を開催しました



薪ストーブに初めて火を入れる「火入れ式」を行い、モデルハウスに火が灯りました。㈱美山ウッドエンジニアさんより慣らし運転や安全に使用する方法を説明していただきました。来場者に古紙が原料の断熱材「セルロースファイバー」の壁を触れもらったり、性能や効果を体験・体感された半日となりました。家づくり勉強会を毎月開催しています。新築・建替えを考え始められたら一度ご参加ください。

特集 階段と暮らし。

家の中心にあって、おへその様な存在の階段。ただ昇降するだけのものではなく、どこに配置するかで住み心地に関わってきます。居場所のひとつになります。どの様な演出をしたいのかは十人十色。これまでの施工事例から、階段と暮らし方を紹介します。



1



2



3



4



5



6



7

3 方向転換する一段目を大きくすることで小さい子供の遊び場に。腰をかけるのにも丁度良い高さ。

4 階段下の空間をベンチスペースへ。家族の多い世帯のために複数の居場所を作った。窓からの陽光が暖かい。

5 階段と繋がる廊下を壁面本棚に。階段に腰を下ろして本を読むこともできる。

6 両側を壁で閉じ視界をすっきりさせ、玄関などの共有スペースと個人的なスペースを仕切る。

7 毎日通る階段にシンボル柱を繋げ木肌の柔らかさを肌で感じる。